



福岡管区気象台

Fukuoka Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

令和4年7月16日にかけての 前線に伴う大雨について

令和4年7月15日

福岡管区気象台 気象防災部

予報課長 小湊 幸彦

警戒・注意事項

○16日朝にかけて、断続的に非常に激しい雨が降り、大雨警報基準を大きく上回るような大雨となるおそれがあります。

○警戒レベル4 相当の土砂災害警戒情報などを発表する可能性があります。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒してください。

また、15日夜から16日午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。線状降水帯が発生すると、現在予想している雨量以上の大雨となります。大雨に対する事前の心構えを一段高めてください。

○これまでに災害が起きていない場所でも、油断することなく災害に対する備えが必要です。

○市町村が発令する避難指示等に留意願います。

○災害発生の危険度を気象庁HP等のキキクル（危険度分布）で確認し、早めの避難行動をお願いいたします。

※最新の気象情報等に留意し、早めの対策をお願いいたします。

気象概況

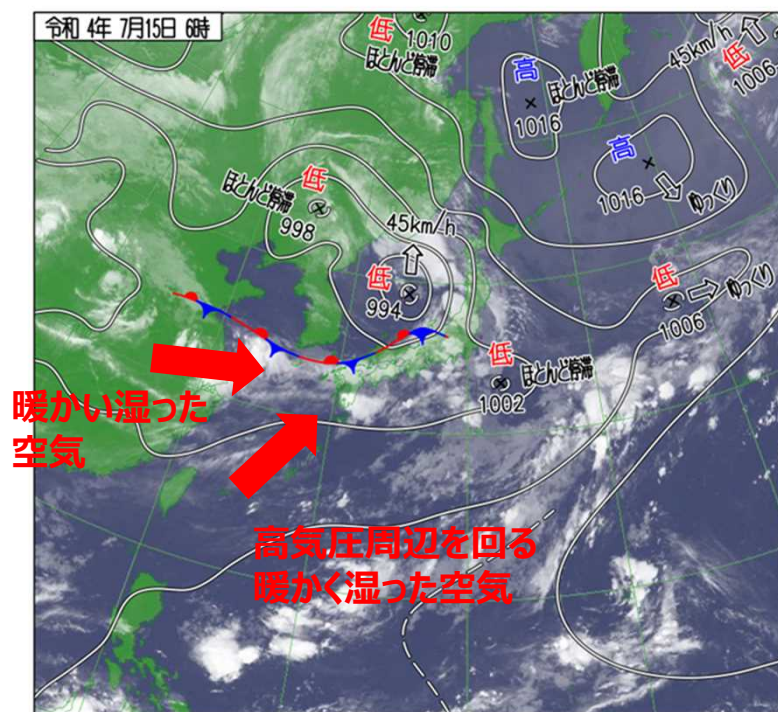


福岡管区気象台

Fukuoka Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

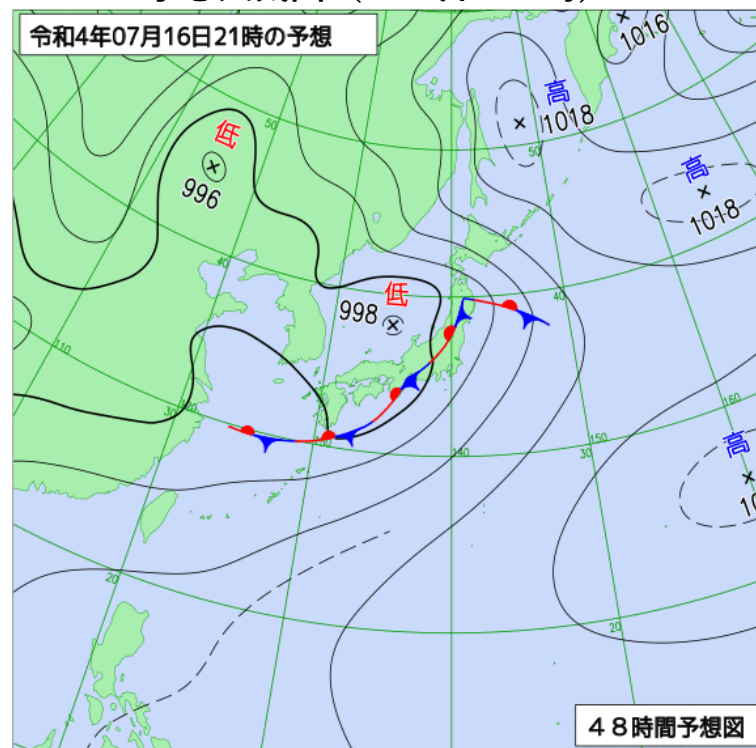
- ・九州北部地方に停滞する前線が、16日にかけて、九州南部まで南下する見込みです。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となり前線の活動が活発となる見込みです。
- ・16日朝にかけて、断続的に非常に激しい雨が降るおそれがあります。大雨警報基準を大きく上回るような大雨となり、重大な災害発生の可能性が高まる見込みです。
- ・15日夜から午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。線状降水帯が発生すると、現在予想している雨量以上の大雨となります。

気象衛星と天気図（15日6時）



九州付近にある前線や前線の南側で、発達した雨雲がある。

予想天気図（16日21時）



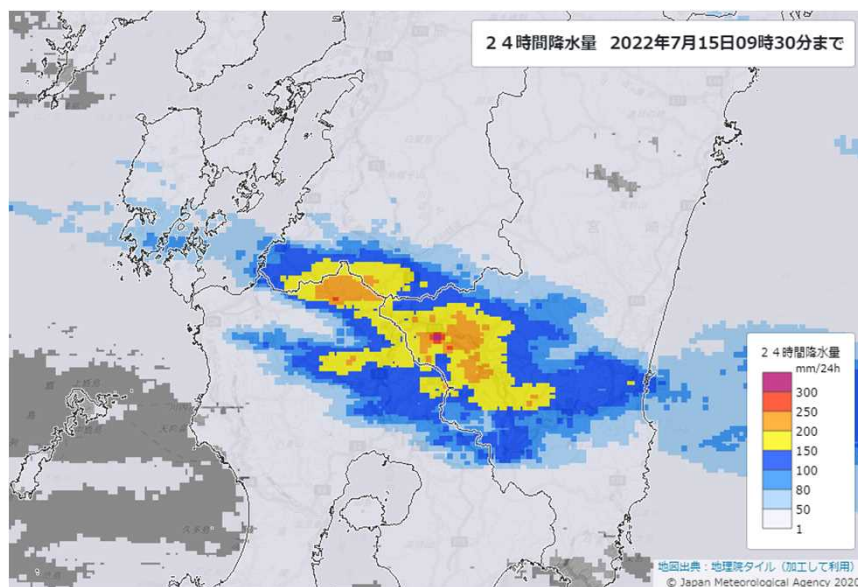
気象実況



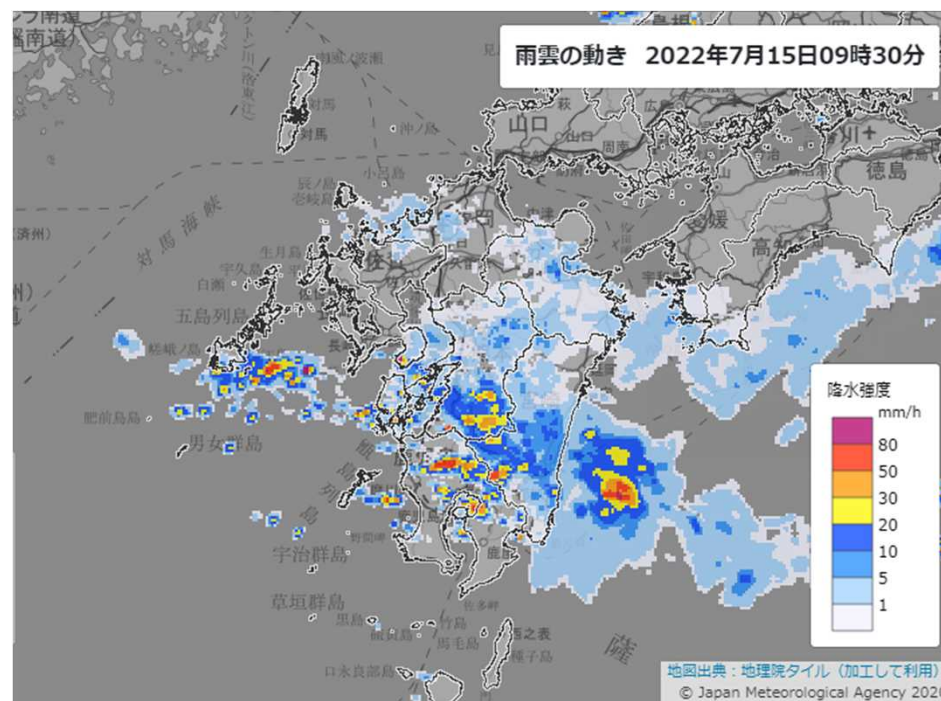
福岡管区気象台

Fukuoka Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

24時間降水量 (7月15日9時30分まで)



雨雲の動き (7月15日9時30分)



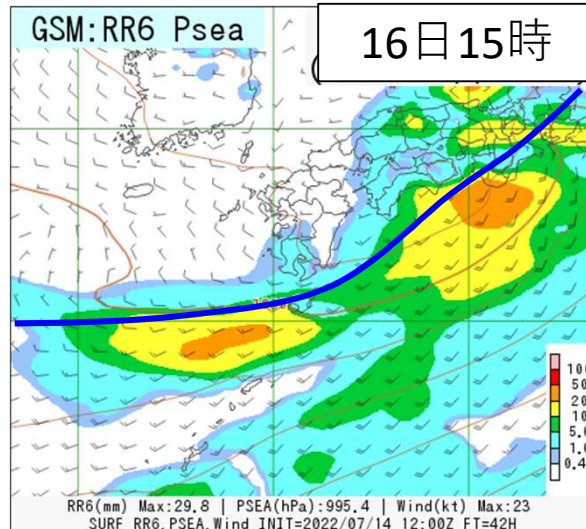
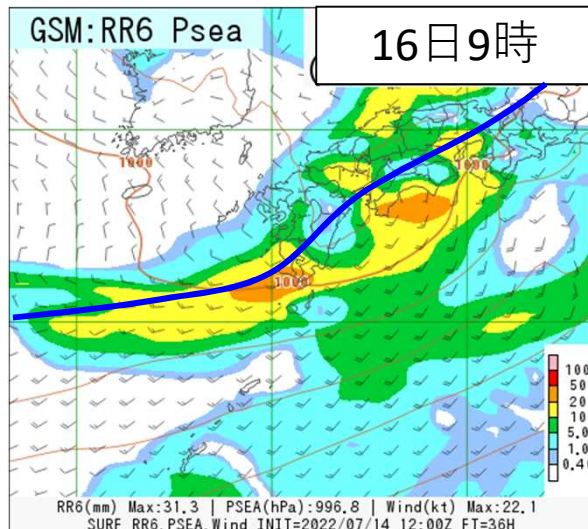
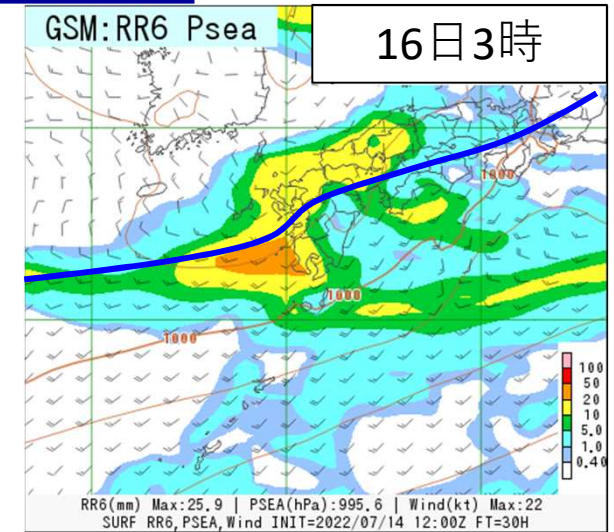
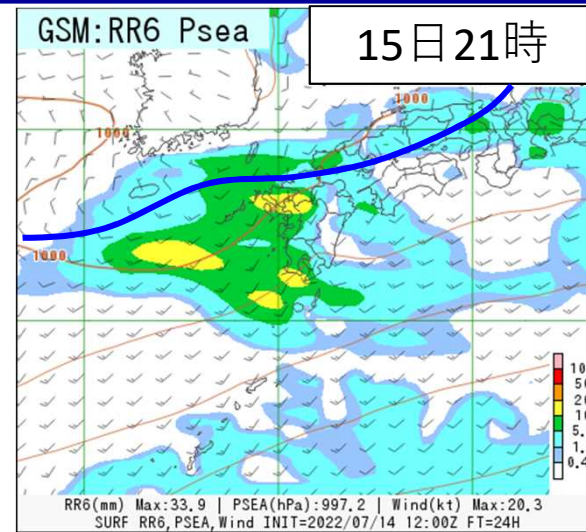
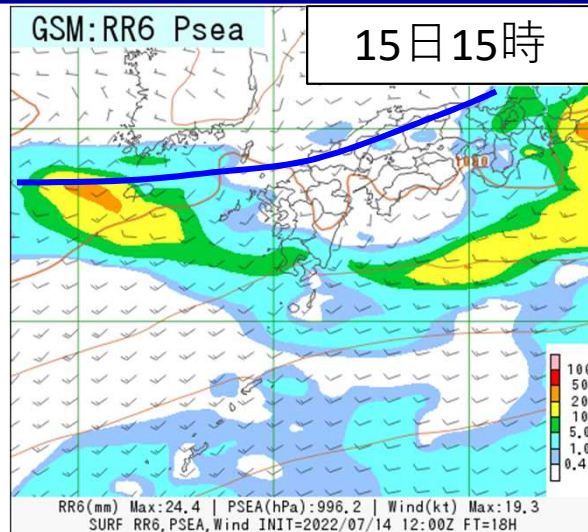
15日5時30分に宮崎県えびの市付近で1時間120ミリ以上、
6時に宮崎県高原町付近で約120ミリの記録的な雨を観測

今後の気圧配置



福岡管区気象台

Fukuoka Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency



- ・前線は16日にかけて九州南部まで南下する見込み。
- ・九州の西岸や九州山地沿いを中心に総雨量が多くなる。また、同じ地域で強雨が降り続く可能性がある。

大雨の早期注意情報と予想雨量



福岡管区気象台

Fukuoka Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

15日10時時点

	予想雨量(ミリ)		大雨の早期注意情報（警報級の可能性）			
	16日までの 最大1時間降水量	16日12時までの 24時間降水量	15日		16日	17日
			12-18時	18-06時	06-24時	
山口県	30	80	[中]	[中]		
福岡県	50	150	[中]	[中]		
佐賀県	60	150	[中]	[高]		
長崎県	50	150	[中]	[中]		
大分県	50	150	[中]	[中]	[中]	
熊本県	70	250	[高]	[高]	[高]	
宮崎県	60	250	[高]	[高]	[高]	
鹿児島県	60	250	[高]	[高]	[高]	

- ・16日にかけて大雨警報の可能性が高い見込みです。
- ・警戒レベル4相当の土砂災害警戒情報などを発表する可能性があります。
- ・線状降水帯が発生すると、現在予想している雨量以上の大雨となります。

警戒・注意事項



福岡管区気象台

Fukuoka Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

○ 16日朝にかけて、断続的に非常に激しい雨が降り、大雨警報基準を大きく上回るような大雨となるおそれがあります。

○ 警戒レベル4 相当の土砂災害警戒情報などを発表する可能性があります。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒してください。

また、15日夜から16日午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。線状降水帯が発生すると、現在予想している雨量以上の大雨となります。大雨に対する事前の心構えを一段高めてください。

○ これまでに災害が起きていない場所でも、油断することなく災害に対する備えが必要です。

○ 市町村が発令する避難指示等に留意願います。

○ 災害発生の危険度を気象庁HP等のキキクル（危険度分布）で確認し、早めの避難行動をお願いいたします。

※最新の気象情報等に留意し、早めの対策をお願いいたします。

大雨による災害の留意事項

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！



今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報(大雨、洪水、暴風(雪)、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>
- キキクル(危険度分布)(どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示)
土砂災害 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
浸水害 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
洪水 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>
- 各地の気象情報(気象概況や大雨の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>
- 台風情報(台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>
https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html
- 指定河川洪水予報(国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>
- 土砂災害警戒情報(命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに嚴重な警戒を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>
- 最新の気象データ(雨雲の動き、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像)
<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>



気象庁HPホーム画面のここをクリック

(本報道発表に関するお問い合わせ)
福岡管区気象台予報課:092-725-3604